

第38回 武雄市短期経済観測調査（たけお短観）の結果について

下記のとおり「第38回武雄市短期経済観測調査（たけお短観）」を実施し、結果をとりまとめましたので、お知らせします。

結果のポイント

- ・総合景気観のDI値は(-11)となった。
- ・7月から9月にかけての見通しは(+4)で、持ち直しの動きがみられている。

【武雄市短期経済観測調査（たけお短観）結果】

令和元年6月調査

	調査数	前回調査		今回調査			前年調査
		A 現況 (H31. 3)	見通し (H31. 4-6)	B 現況 (R1. 6)	(B-A)	見通し (R1. 7-9)	現況 (H30. 6)
					前回現況 との対比		
総 合	100	-2	22	-11	-9	4	-2
農 業	10	-20	0	-20	0	-20	-33
建設業	11	18	27	-27	-46	18	18
製造業	11	9	36	-9	-18	9	0
卸売・小売業	25	-13	25	-24	-12	8	-8
観光業	11	-30	20	18	48	-9	-18
飲食業	10	13	13	-10	-23	0	-33
サービス業	22	9	23	0	-9	9	29

- 調査目的 本市経済の景況感をよりの確に把握するため
- 調査対象 武雄市内事業所 100箇所（業種別内訳は上表参照）
- 調査時期 年4回（3月、6月、9月、12月）
- 調査方法 電話による聴き取り
- 調査内容
 - (1) 現在の景況感：良い、普通、悪いのいずれかを回答
 - (2) 3ヵ月後の見通し：良くなる、変わらない、悪くなるのいずれかを回答
- 集計方法
 - (1) 現在の景況感(2)3ヵ月後の見通しについて、それぞれ回答数の構成比を求めた上で「良い(良くなる)」の構成比から「悪い(悪くなる)」の構成比を引いて「現況DI」、「見通しDI」として指標化しました。
 - 例えば、現在の景況感の「良い」が10%、「普通」が40%、「悪い」が50%の場合は、-40となります。
 - 「DI」(Diffusion Index、デフュージョン・インデックス)は、企業や業界の景況感などを数値化した指標の事で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられています。